



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月30日

上場会社名 元気寿司株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9828 URL <https://www.genkisushi.co.jp/corporate/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 東 光法
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 上野山 素雄 (TEL) 028-632-5711
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	総販売額		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	32,587	9.7	16,318	8.6	1,813	73.0	1,857	75.8	1,218	90.1
2024年3月期第1四半期	29,699	21.6	15,019	18.8	1,048	94.6	1,056	94.7	640	11.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,354百万円(72.2%) 2024年3月期第1四半期 786百万円(6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	68.99	—
2024年3月期第1四半期	36.28	—

※ 総販売額は、売上高からフランチャイズ契約先からのロイヤリティ収入を除き、ロイヤリティ収入の対象となる海外店舗の店舗売上高を合算したものであります。

(注) 当社は、2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	31,431	14,008	44.6
2024年3月期	32,774	13,536	41.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 14,008百万円 2024年3月期 13,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	50.00	—
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

※ 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の1株当たり配当金について、第2四半期期末は分割前、期末は分割後の金額を記載し、また、年間配当合計は「—」を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	4.3	5,000	1.7	5,100	0.4	3,300	1.2	186.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	17,765,816株	2024年3月期	17,765,816株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	108,971株	2024年3月期	108,891株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	17,656,881株	2024年3月期1Q	17,654,685株

(注) 当社は、2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額について、従来、千円単位で掲載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって掲載することに変更しました。

なお、比較を容易にするために、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進展したことに加え、雇用や所得環境の改善により、緩やかな回復の動きがみられました。一方、先行きにつきましては、世界的に高い金利水準の長期化や急激な円安進行などの影響に加え、不安定な国際情勢及び中国経済の懸念などのリスク要因が多く、国内、海外経済ともに依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、2024年4月より現状の組織を、マーケット及び機能別に再編し、「国内事業本部」、「グローバル事業本部」、「コーポレート本部」の3本部制といたしました。また、それぞれのミッションを明確化することで、数値目標の達成及び持続的な成長を目指してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高163億1千8百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益18億1千3百万円（前年同期比73.0%増）、経常利益18億5千7百万円（前年同期比75.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億1千8百万円（前年同期比90.1%増）となり、第1四半期連結累計期間では、過去最高の業績となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より「海外事業」としていたセグメント名称を「グローバル事業」に変更しております。当該名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

(国内事業)

国内事業につきましては、「ジョブチェーン」や「THE神業チャレンジ」（TBS系）等の全国向けテレビ番組で数多く紹介されたことにより、ブランドの認知度向上及び来店客数の増加に繋がりました。また、業務効率化や外部環境の変化に合わせて求められる省人化、省力化、自動化等のDXを社内横断プロジェクトの形で推進しております。

店舗展開につきましては、国内の総店舗数は185店舗となりました。また、京都駅前に高級寿司業態「京都千両」の出店を2024年9月に予定しており、新規オープンに向けた準備を進めております。

この結果、国内事業の経営成績は、売上高139億8千7百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益12億9千4百万円（前年同期比125.5%増）となり、第1四半期連結累計期間では、過去最高の売上高及びセグメント利益となりました。

なお、国内店舗は全て自営店舗であります。

(グローバル事業)

グローバル事業につきましては、他社との競争激化が予想される中、フランチャイズ店舗の収益力強化のため、海外店舗に赴き、現地にて営業面でのサポートや現地のニーズに合った商品の提案、新規エリア進出に向けた市場調査等を積極的に行っております。

店舗展開につきましては、ロイヤリティ収入の対象となる海外店舗で、4店舗出店し、2店舗退店したことにより230店舗となり、米国子会社の12店舗とあわせて、海外の総店舗数は242店舗となりました。

この結果、グローバル事業の経営成績は、売上高23億3千万円（前年同期比9.2%増）、セグメント利益5億1千9百万円（前年同期比9.5%増）となり、国内事業同様に、第1四半期連結累計期間では、過去最高の売上高及びセグメント利益となりました。

グローバル事業の売上高の内訳は、米国子会社の店舗売上高14億9千4百万円（前年同期比9.3%増）、フランチャイズ契約先への食材等売却による売上高3億8千7百万円（前年同期比9.0%増）、フランチャイズ契約先からのロイヤリティ収入(海外店舗売上高の一定率等)4億4千8百万円（前年同期比9.0%増）等であります。

なお、ロイヤリティ収入の対象となる海外店舗の売上高の合計は、171億5百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の総販売額は、325億8千7百万円（前年同期比9.7%増）となりました。なお、当第1四半期連結累計期間における店舗売上高及び当該期間末の店舗数の状況は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増減
店舗売上高			
国 内	12,882百万円	13,987百万円	1,104百万円
グローバル	16,814百万円	18,600百万円	1,785百万円
店舗売上高合計	29,696百万円	32,587百万円	2,890百万円
店舗数（四半期末時点）			
国 内	184店	185店	1店
グローバル	232店	242店	10店
店舗数合計	416店	427店	11店

（注）店舗売上高及び店舗数のグローバルは、米国子会社の店舗売上高及びロイヤリティ収入の対象となる海外店舗の売上高或いは店舗数を合算しております。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億4千2百万円減少し、314億3千1百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少14億5千9百万円があったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ18億1千4百万円減少し、174億2千3百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少5億6千4百万円、長期借入金（1年内返済予定を含む）の減少3億4百万円があったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億7千1百万円増加し、140億8百万円となりました。これは主に、配当金の支払による減少8億8千2百万円があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上12億1千8百万円があったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は3.3ポイント増加し、44.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14億5千9百万円減少し、当第1四半期連結累計期間末には90億8千7百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2億5千5百万円（前年同四半期は4億6千6百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益18億4千2百万円、減価償却費4億8千8百万円による増加があった一方で、仕入債務の減少額1億7百万円、法人税等の支払額10億6千8百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、3億6千3百万円（前年同四半期は2億9千9百万円）となりました。これは主に、店舗の新設等による支出4億1千1百万円があった一方で、差入保証金の回収7千2百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、14億4千5百万円（前年同四半期は6億8千7百万円）となりました。これは主に、配当金の支払8億8千2百万円、長期借入の返済3億8百万円、リース債務の返済2億5千4百万円を行ったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,547	9,087
売掛金	2,505	2,524
商品及び製品	572	643
原材料及び貯蔵品	93	90
その他	556	562
流動資産合計	14,275	12,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,540	11,669
土地	651	651
リース資産	7,649	7,480
その他	3,970	4,522
減価償却累計額	△12,375	△12,723
有形固定資産合計	11,436	11,600
無形固定資産	335	297
投資その他の資産		
差入保証金	4,460	4,436
その他	2,267	2,189
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,726	6,625
固定資産合計	18,499	18,523
資産合計	32,774	31,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,367	2,269
1年内返済予定の長期借入金	1,231	1,233
未払法人税等	1,049	485
賞与引当金	255	172
資産除去債務	29	36
その他	5,725	4,869
流動負債合計	10,657	9,066
固定負債		
長期借入金	2,011	1,705
リース債務	5,623	5,721
資産除去債務	903	891
その他	40	37
固定負債合計	8,580	8,357
負債合計	19,237	17,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,398	2,398
利益剰余金	10,745	11,080
自己株式	△77	△77
株主資本合計	13,166	13,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	370	505
その他の包括利益累計額合計	370	507
純資産合計	13,536	14,008
負債純資産合計	32,774	31,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	15,019	16,318
売上原価	6,330	6,535
売上総利益	8,689	9,782
販売費及び一般管理費	7,641	7,968
営業利益	1,048	1,813
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	17
受取賃貸料	4	2
受取手数料	36	37
その他	6	6
営業外収益合計	60	63
営業外費用		
支払利息	23	18
賃貸費用	8	0
和解金	20	-
その他	0	1
営業外費用合計	52	20
経常利益	1,056	1,857
特別損失		
固定資産除却損	9	-
賃貸借契約解約損	2	14
特別損失合計	11	14
税金等調整前四半期純利益	1,045	1,842
法人税、住民税及び事業税	241	512
法人税等調整額	162	112
法人税等合計	404	624
四半期純利益	640	1,218
親会社株主に帰属する四半期純利益	640	1,218

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	640	1,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	145	135
その他の包括利益合計	146	136
四半期包括利益	786	1,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	786	1,354

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,045	1,842
減価償却費	507	488
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△121	△83
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△1	-
受取利息及び受取配当金	△13	△17
支払利息	23	18
固定資産除売却損益 (△は益)	9	-
賃貸借契約解約損	2	14
売上債権の増減額 (△は増加)	100	△18
棚卸資産の増減額 (△は増加)	39	△65
仕入債務の増減額 (△は減少)	△515	△107
その他	△284	△763
小計	788	1,308
利息及び配当金の受取額	12	33
利息の支払額	△23	△18
法人税等の支払額	△311	△1,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	466	255
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△335	△354
無形固定資産の取得による支出	△21	△2
差入保証金の差入による支出	△11	△53
差入保証金の回収による収入	94	72
その他	△25	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△299	△363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△307	△308
リース債務の返済による支出	△291	△254
配当金の支払額	△88	△882
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△687	△1,445
現金及び現金同等物に係る換算差額	87	94
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△432	△1,459
現金及び現金同等物の期首残高	7,688	10,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,256	9,087

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	グローバル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,885	2,134	15,019	—	15,019
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	12,885	2,134	15,019	—	15,019
セグメント利益	574	474	1,048	—	1,048

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より各報告セグメントの業績を的確に把握するため、全社費用を各報告セグメントに配賦する際の配賦方法を予定配賦から実績配賦に変更しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	グローバル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,987	2,330	16,318	—	16,318
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	13,987	2,330	16,318	—	16,318
セグメント利益	1,294	519	1,813	—	1,813

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

(報告セグメント名称の変更)

当第1四半期連結会計期間より「海外事業」としていたセグメント名称を「グローバル事業」に変更しております。当該名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。